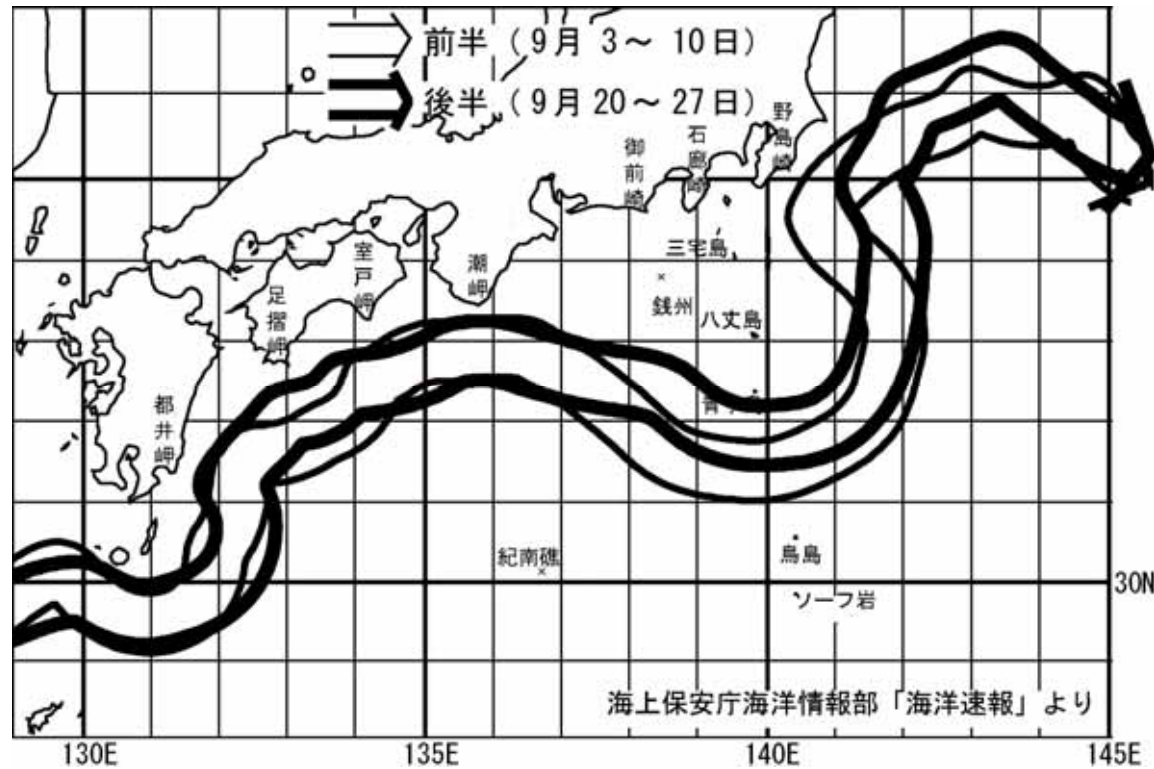


漁海況月報

平成27年 9月 1日

No. 9 ~ 9月30日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



9月定地水温の旬平均値(°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	25.6	25.5	25.8	24.9	25.2	25.2	—
	0.9	1.1	1.2	-1.0	-0.5	-0.2	—
中旬	24.8	24.6	24.3	24.4	24.3	24.0	24.3
	0.6	0.6	0.2	-0.7	-0.6	-0.4	-0.4
下旬	24.0	23.9	23.8	23.9	23.9	23.3	23.5
	0.9	0.4	0.4	-0.4	0.3	-0.1	-0.1
月	24.8	24.7	24.8	24.4	24.5	24.3	—
	0.8	0.7	0.7	-0.7	-0.3	-0.1	—

(地頭方は水温計の不調により欠測)

【黒潮流路】

前半の黒潮は、遠州灘沖を南東に進み、青ヶ島の南を通過した後 141° E 付近を北上し、房総半島沖へ流れた。後半は、遠州灘沖を南東に進み、青ヶ島付近を通過した後、141.5° E 付近を房総半島沖へ北上した。

【県下沿岸域】

上旬は、相模湾側で「やや高め」、駿河湾では「平年並」～「やや低め」であった。中旬は相模湾側では「平年並」～「やや高め」、駿河湾では「平年並」～「やや低め」であった。下旬は、相模湾側では「平年並」～「やや高め」、駿河湾では「平年並み」であった。

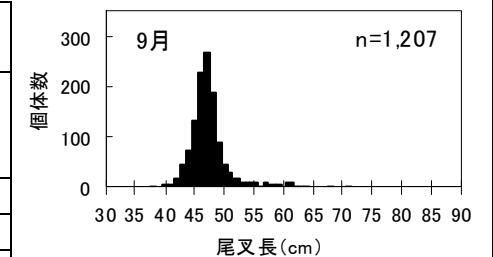
【竿釣カツオ】

9月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオ(近海船+沿岸船)の水揚量は100トンで前年同期の125%であった。

漁場は31~33° N、139~140° Eのハロース、海徳場、黒瀬を中心とした伊豆諸島海域で、銘柄「小」(尾叉長47cmモード)を主体に漁獲した。魚価は447円/kgで前月(368円/kg)に比べ高値で推移したが、前年同期を下回った。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
27年9月上旬	25	10	2.5	365
中旬	21	7	2.9	515
下旬	54	13	4.2	459
27年9月計	100	30	3.3	447
26年9月計	80	48	1.7	463
25年9月計	65	23	2.8	467



御前崎港における測定結果

【定量網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は239トンで前年の同漁場の水揚量(347トン)の0.69倍であった。また、1か統あたりの水揚量は34.2トンで前年(49.6トン)の0.69倍、平年(昭和57~平成26年の平均51トン)の0.67倍であった。

魚種別の水揚量は、さば類、ヤマトカマス、マルソウダ、シイラ、ブリの順に多く、特にヤマトカマスについては前年および平年を上回る漁獲であった。

7か統のうち、さば類は谷津漁場が22%、次いで北川漁場が20%、古網および伊豆山漁場が15%を占めた。ヤマトカマスは伊豆山漁場が42%、次いで古網漁場が29%を占めた。マルソウダは古網漁場が47%、次いで赤沢、伊豆山、北川、谷津漁場が12%を占めた。シイラは北川漁場が26%、次いで赤沢漁場が25%、富戸漁場が17%を占めた。ブリは古網漁場が65%、次いで北川漁場が15%を占めた。

ブリは銘柄「わかし」が主体で、ブリ全水揚量の75%を占めた。さば類は銘柄「ゴマサバ」が主体で、さば類全水揚量の80%を占めた。

漁場別の水揚量では、古網漁場が53.9トン(ヤマトカマス、ゴマサバ、マルソウダなど)、伊豆山

漁場が53トン（ヤマトカマス、ゴマサバ、マルソウダなど）、北川漁場が46トン（ゴマサバ、ヤマトカマス、モロなど）の順に多かった。

＜参考表＞ 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	73.5	0.9	0.6	谷津、北川、古網、伊豆山
ヤマトカマス	70.4	1.2	2.7	伊豆山、古網、北川
マルソウダ	20.0	0.2	0.4	古網、赤沢、伊豆山、北川、谷津
シイラ	12.1	0.5	2.2	北川、赤沢、富戸
ブリ	8.0	1.4	0.6	古網、北川、伊豆山

【サバたもすくい棒受網】

小川港にはゴマサバが370トン（前年同月比48%）水揚げされ、1隻あたり水揚量は16.8トン（前年同月比58%）であった。1kgあたり平均単価は109円で前月（169円）を下回り、前年同月（93円）を上回った。マサバの水揚げは無かった。

ゴマサバは30cmにモードを持つ2歳魚主体であり、月を通じて三宅、三本などの三宅島周辺海域に漁場が形成された。

小川港 さば類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
27年9月 上旬	-	108	2	7	-	15.5	-	122	三宅、三本
中旬	-	58	1	2	-	29.1	-	118	三本
下旬	-	203	7	13	-	15.7	-	99	三宅、三本
27年9月 計	-	370	10	22	-	16.8	-	109	三宅、三本
26年9月	-	777	11	27	-	28.8	-	93	銭洲、中の瀬
25年9月	-	374	7	14	-	26.7	-	75	三本、三宅

* 水揚量は、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

* 表中の「-」は漁獲がなかったことを示す。

【シラス船曳網】

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾（静岡、吉田）が261kg、遠州灘（御前崎、福田、舞阪、新居）が199kgであった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は222kgと前年同期（208kg）の106.7%で前年並み、平年同期（過去5か年平均：411kg）の54.0%で平年同期を大きく下回った。また、総水揚量は264.5トンで前年同期（368.0トン）の71.9%、平年同期（825.8トン）の32.0%で前年同期及び平年同期を下回った。平均単価は942円/kgで前年同期（1,059円/kg）を下回り、平年同期（688円/kg）を上回った。

シラス水揚量（主要6港）

漁 港	水揚量 (トン)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	11.8	9	84	141	752
舞 阪	51.6	9	319	162	911
福 田	54.4	9	229	238	797
御前崎	29.9	10	109	275	1,020
吉 田	51.4	10	207	249	931
静 岡	65.3	11	241	271	1,093
平成27年9月計	264.5	58	1,189	222	942
平成26年9月計	368.0	85	1,773	208	1,059
平成25年9月計	684.0	80	1,785	383	726

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年同期：過去5か年(平成22～26年)平均値

【まき網】

マイワシの水揚げは小川港で9.0トンと平年同期(26.0トン)の34.6%、沼津港は77.5トンで平年同期(110.7トン)の70.0%であった。カタクチイワシの水揚げは小川港、沼津港ともに1トン未満、伊東港は1.7トンであった。

なお、伊豆東岸定置網8か統のマイワシは12.8トン（前年同期22.4トン）、カタクチイワシは2.3トン（前年同期0.4トン）の水揚げがあった。

*平年同期：過去5か年(平成22～26年)平均値

【調査船駿河丸の動向】

9月 1日 ～ 9月 3日	地先定線観測調査	(3日間)
9月 4日	深層水採水調査	(1日間)
9月 7日 ～ 9月 8日	いわし・シラス調査及びさば標識放流調査	(2日間)
9月 14日 ～ 9月 17日	サクラエビ産卵調査 (IKMT)	(4日間)
9月 28日 ～ 9月 29日	ふぐ稚魚調査 (TBC ネット)	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星 NOAA の海面水温分布画像と
関東・東海海況速報を見ることができます。